

平成29年度 教員免許状更新講習

— 受講者募集要項 —

高 松 大 学
高 松 短 期 大 学

平成 29 年 5 月

〒761-0194 高松市春日町960番地
学生支援部 教務課
TEL (087) 841-3237

<http://www.takamatsu-u.ac.jp/menkyo/>

目 次

1.	受講にあたって	1
2.	受講対象者	1
3.	講習日程等	2
4.	受講方法	4
5.	受講料	4
6.	受講申込み手続	4
7.	受講決定通知	5
8.	講習の延期・中止	5
9.	申込書類	6
10.	履修（修了）認定について	6
11.	募集要項取り寄せ方法	6
12.	事前相談	6
13.	個人情報の取扱い	6
14.	講習内容	7
15.	講習会場案内図・お問合せ先	10

1. 受講にあたって

平成19年6月の教育職員免許法の改正により、平成21年4月から教員免許更新制が導入されました。教員免許状の更新にあたっては、有効期間満了日（修了確認期限）の2年2ヶ月前から2ヶ月前までの2年間に、大学などが開設する下表の合計30時間以上の免許状更新講習を受講・修了した後に、各自において、都道府県教育委員会の免許管理者に申請して、更新講習修了確認の手続きを行う必要があります。

必修領域	<p>「全ての受講者が受講する領域」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の教育政策や世界の教育の動向 ・教員としての子ども観、教育観等についての省察 ・子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見 ・子どもの生活の変化を踏まえた課題 	6時間以上 (6時間×1講習)
選択必修領域	<p>「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を巡る近年の状況の変化 ・学習指導要領の改訂の動向等 ・法令改正及び国の審議会の状況等 ・様々な問題に対する組織的対応の必要性 ・学校における危機管理上の課題 ・教育相談（いじめ・不登校への対応を含む。） ・進路指導及びキャリア教育 ・学校、家庭並びに地域の連携及び協働 ・道徳教育 ・英語教育 ・国際理解及び異文化理解教育 ・教育の情報化（情報通信技術を利用した指導及び情報教育（情報モラルを含む。）等） 	6時間以上 (6時間×1講習)
選択領域	<p>「受講者が任意に選択して受講する領域」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児、児童又は生徒に対する教科指導及び生徒指導上の課題 	18時間以上 (6時間×3講習)
合 計		30時間以上

2. 受講対象者

以下の①～⑥のうち、平成30年3月31日又は平成31年3月31日に修了確認期限を迎える方（次頁の表を参照）が主な受講対象です。

- ① 現職教員（校長、副校長、教頭を含む。ただし、指導改善研修中の者を除く）
- ② 実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員
- ③ 教育長、指導主事、社会教育主事、その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する指導等を行う者
- ④ ③に準ずる者として免許管理者が定める者
- ⑤ 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の教員
- ⑥ 上記に掲げる者のほか、文部科学大臣が別に定める者

また、以下の⑦～⑫のうち、平成30年3月31日又は平成31年3月31日に修了確認期限を迎える方（又はすでに修了確認期限が過ぎている方）で、教育職員となることを希望する方も受講することができます。※教職に就いておらず、教員として勤務する予定のない方は、受講の必要はありません。

- ⑦ 教員採用内定者
- ⑧ 教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用（または非常勤）教員リストに登載されている者
- ⑨ 過去に教員として勤務した経験のある者
- ⑩ 認定こども園（幼保連携型を除く）で勤務する保育士
- ⑪ 認可保育所で勤務する保育士
- ⑫ 幼稚園を設置する者が設置する認可外保育施設で勤務している保育士

旧免許状（平成21年3月31日以前に授与された免許状）を授与された方の修了確認期限

修了確認期限：平成30年3月31日の方

生 年 月 日	年 齢	免許状更新講習受講期間
昭和37年4月2日～昭和38年4月1日	満55歳	平成28年 2月 1日 ～ 平成30年 1月31日
昭和47年4月2日～昭和48年4月1日	満45歳	
昭和57年4月2日～昭和58年4月1日	満35歳	
栄養教諭免許状を平成19年4月1日から平成20年3月31日までに授与された方（生年月日は問わない）		

※ 表中の年齢は、平成30年3月31日現在

修了確認期限：平成31年3月31日の方

生 年 月 日	年 齢	免許状更新講習受講期間
昭和38年4月2日～昭和39年4月1日	満55歳	平成29年 2月 1日 ～ 平成31年 1月31日
昭和48年4月2日～昭和49年4月1日	満45歳	
昭和58年4月2日～昭和59年4月1日	満35歳	
栄養教諭免許状を平成20年4月1日から平成21年3月31日までに授与された方（生年月日は問わない）		

※ 表中の年齢は、平成31年3月31日現在

文部科学省ホームページにて、修了確認期限を確認できます。

【修了確認期限をチェック】 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index1.htm

3. 講習日程等

講習内容の詳細は、「13. 講習内容」（7～9頁）をご参照ください。

<必修領域講習>

① 講習日程

講習名	講習日程	実施会場	主な受講対象者	受講人数
教育の最新事情	8月10日（木）	本学	幼・小教諭	50人

※ 天災等の不測の事態が発生した場合は、講習を延期又は中止する場合があります。

② 講習時間

	受付	リエンテーション (5分)	1校時 (80分)	2校時 (80分)	昼食休憩 (60分)	3校時 (80分)	4校時 (60分)	認定試験 (60分)
時間	8:30～ 9:00	9:05～ 9:10	9:10～ 10:30	10:40～ 12:00	12:00～ 13:00	13:00～ 14:20	14:30～ 15:30	15:40～ 16:40

※ 講習評価のアンケート調査を 4校時終了後の休憩時間に実施します。

<選択必修領域講習>

① 講習日程

講習名	講習日程	実施会場	主な受講対象者	受講人数
学校における危機管理上の課題	8月16日(水)	本学	全教員	40人
教育の情報化 (ICTを利用した指導、情報モラルを含む)	8月16日(水)	本学	全教員	40人

※ 天災等の不測の事態が発生した場合は、講習を延期又は中止する場合があります。

② 講習時間

	受付	リエンテーション (5分)	1校時 (80分)	2校時 (80分)	昼食休憩 (60分)	3校時 (80分)	4校時 (60分)	認定試験 (60分)
時間	8:30~ 9:00	9:05~ 9:10	9:10~ 10:30	10:40~ 12:00	12:00~ 13:00	13:00~ 14:20	14:30~ 15:30	15:40~ 16:40

※ 講習評価のアンケート調査を4校時終了後の休憩時間に実施します。

<選択領域講習>

① 講習日程

講習名	講習日程	実施会場	履修認定 対象職種	主な受講対象者	受講人数
表現に役立つ描画材料の基礎	8月17日(木)	本学	教諭	幼・小教諭	15人
子どもの保健 ークラス担任に知って欲しいことー	8月21日(月)	本学	教諭	幼・小教諭	30人
心を読みとるコミュニケーション	8月22日(火)	本学	教諭	小・中・高教諭	50人
教師としてのマナーを考える	8月23日(水)	本学	教諭	幼・小・中・高教諭	20人
「新しい読解力」と国語科の授業	8月26日(土)	本学	教諭	小学校教諭 (国語科を専門としない方)	20人
発声を中心とした共通教材等の歌唱指導	8月27日(日)	本学	教諭	幼・小・中(音楽) 教諭	10人
子どもに対する英語指導と異文化理解教育	9月2日(土)	本学	教諭	幼・小・保育教諭	20人

※ 天災等の不測の事態が発生した場合は、講習を延期又は中止する場合があります。

② 講習時間

	受付	オリエンテーション (5分)	1校時 (80分)	2校時 (80分)	昼食休憩 (60分)	3校時 (80分)	4校時 (60分)	認定試験 (60分)
時間	8:30～ 9:00	9:05～ 9:10	9:10～ 10:30	10:40～ 12:00	12:00～ 13:00	13:00～ 14:20	14:30～ 15:30	15:40～ 16:40

※ 講習評価のアンケート調査を 4校時終了後の休憩時間に実施します。

4. 受講方法

本学では、必修領域、選択必修領域、選択領域のそれぞれの講習を1日6時間で開講します。本学で30時間の受講を希望する方は、必修領域1講習（6時間）、選択必修領域1講習（6時間）、選択領域3講習（18時間）を受講してください。なお、ご希望の1講習だけでも受講することができます。また、選択領域講習は講習内容に照らし、履修認定対象職種、校種・教科等の主な受講対象者を表記していますので、確認のうえ受講申込みを行ってください。

申込み期間等は、「6. 受講申込み手続」を確認願います。

5. 受講料

必修領域講習（1講習 6時間）・・・・・・・・ 6,000円

選択必修領域講習（1講習 6時間）・・・・ 6,000円

選択領域講習（1講習 6時間）・・・・・・・・ 6,000円

必修領域講習×1講習と選択必修領域講習×1講習と選択領域講習×3講習の30時間では、合計30,000円となります。

6. 受講申込み手続

(1) 受講申込書等の提出

講習の受講申込みは、①受講申込書（別紙様式A-①、A-② 振込金受取書の写しを必ず貼付してください）②写真票 ③課題意識調査票 ④受講者決定通知用の封筒（長形3号封筒に82円分切手を貼付し、自宅住所、氏名を記入してください）を6月30日（木）までに角形2号封筒（表面に受講申込書在中と朱書）にて、以下の提出先まで郵送（簡易書留）願います。受講申込書等の書類が提出されて初めて受講申込みの受付となります。

なお、本講習を申込みする際には、受講申込書の下欄の〔証明者記入欄〕に、受講対象者であることの証明を受ける必要があります。勤務先の校長・園長等が証明者となりますが、教員採用内定者、教員勤務経験者、それぞれ証明者が異なります。受講申込書 別紙（参考）「受講対象者の証明の方法について」に従い、証明を受けてください。

- 受付期間 平成29年5月16日（火）9時から6月30日（金）17時締切（必着）

ただし、申込みは先着順となります。受付期間中であっても受講定員に達した講習は、受付を中止する場合がありますので、事前に本学のホームページ
(<http://www.takamatsu-u.ac.jp/menkyo/>) からご確認ください。

- 提出先 〒761-0194 高松市春日町960番地 高松大学 学生支援部教務課

(2) 受講料の振込

受講料をまとめて下記の本学指定のいずれかの口座に振込み願います。受講申込書(別紙様式 A-②)に振込金受取書の写を必ず貼付してください。本申込みの受付要件ですので、必ず振込金受取書の写を貼付していることを確認してから受講申込みをするようにお願いします。

【振込先】

百十四銀行 本店 普通預金 口座番号1062994 口座名 学校法人 四国高松学園
香川銀行 本店 普通預金 口座番号1842389 口座名 学校法人 四国高松学園

申込み後の受講辞退に伴う受講料の返還については、次のとおりといたします。なお、基準日は本学に辞退の届出が行われた日とします。

- ① 講習日の1日前まで(1日前が土日の場合は金曜日まで)に届出があった場合は、キャンセル料として1講習につき1,000円の手数料を除いた額を返還します。
- ② 講習当日の欠席・早退の場合は、返還しません。

また、受講料の返還は銀行振込といたしますが、振込み手数料は受講者負担となります。

(3) 受講者の課題意識の調査

別紙2の「課題意識調査票」を作成願います。この課題意識調査票には、受講者の方が日頃から疑問に思っていることや、どのようなことに問題点を見つけて今回の講習を選択したか、また、その問題点を解決するために講習に何を期待しているか等の内容を記載願います。ご提出いただいた課題意識調査票は、それぞれの講習担当者に配付し、講習の内容や進め方の参考にさせていただきます。

7. 受講決定通知

講習毎の定員、主な受講対象者等を勘案して、先着順に受講者を決定します。

受講が決定された方には、7月14日(金)までに、同封されている返信用封筒で本人宛に受講決定通知書を発送します。

なお、定員を超えた場合は、受講料を銀行振込で返還させていただき、受講は認められませんのでご了承ください。

8. 講習の延期・中止

台風接近等の天災による被害若しくは被害の恐れがある場合又はその他不測の事態により、講習の開催を延期又は中止することがあります。

また、募集終了時点での申込者が5人に満たない場合は、講習の開催を中止することがあります。

延期・中止で受講できない場合は、受講者と調整し他の講習に振り替えます。振替ができない場合は、講習料を返金します。

9. 申込書類

申 込 書 類	摘 要
受 講 申 込 書	受講する講習分について、受講申込書（別紙様式A-①、A-②）を作成してください。 写真は申込前6ヶ月以内に撮影した正面、上半身無帽の写真を貼付してください。（下記写真票と同じもの） 受講申込書（別紙様式A-②）に振込金受取書の写を必ず貼付してください。
写 真 票	受講する講習数だけの写真票（別紙1）を作成してください。写真は申込前6ヶ月以内に撮影した正面、上半身無帽の写真を貼付してください。（受講申込書と同じもの）
課 題 意 識 調 査 票	課題意識調査票（別紙2）に、どのような課題意識を持って受講するのかを講習毎に記入してください。
受講者決定通知用の封筒	長形3号封筒に82円分切手を貼付し、自宅住所、氏名を記入してください。

10. 履修（修了）認定について

必修講習、選択必修講習、選択講習ともに1講習終了時に認定試験を実施します。講習の履修（修了）認定は、講習毎の認定試験によって行います。認定試験の方法（筆記試験、実技考査等）は、「13. 講習内容」で確認してください。

本学で、同一年度に必修6時間以上、選択必修6時間以上、選択18時間以上を含む、合わせて30時間以上の講習に合格した方には修了証明書を、それ以外の方には、合格した講習の履修証明書を発行いたします。履修（修了）証明書は、9月下旬の発送を予定しています。

なお、欠席・遅刻・早退した場合は、法定されている受講時間数が確保できないため、履修（修了）認定は認められません。

11. 募集要項取り寄せ方法

本学のホームページ（<http://www.takamatsu-u.ac.jp/menkyo/>）から、必要な募集要項・申込書等をダウンロードしてください。なお、ダウンロードできない場合は、住所、氏名及び郵便番号を明記し、140円分の郵便切手を貼付した返信用封筒（角形2号）を同封し、送付用宛先の横に「教員免許状更新講習受講者募集要項請求」と朱書きの上、高松大学 学生支援部教務課（10頁 お問合せ先）へ郵送で請求してください。

12. 事前相談

本学での講習受講を希望する方で、身体の障がい等により、受講上の配慮を必要とする方は、受講申込前に、高松大学 学生支援部教務課（10頁 お問合せ先）までお申し出願います。

13. 個人情報の取扱い

受講申込書類から取得した個人情報及び認定試験の実施により取得した個人情報は、本講習の実施に係る業務にのみ使用します。

14. 講習内容

<必修領域講習>

講習名	教育の最新事情
講習の概要	以下の4項目の講習を行う。①国の教育政策の動向や世界の教育の動向について理解する。②教師の教育的愛情、専門性、倫理観や遵法精神、など社会的要請のあることを巡って教職について省察する。③幼児・児童の発達や生活に関する心理学の最新の知見及び特別支援教育に関する課題などについて理解する。④子どもの生活の変化を踏まえた課題について理解し、適切な支援方策について考察する。
試験方法	筆記試験
担当講師	佐竹 勝利（高松大学 発達科学部 教授） 中塚 勝俊（高松大学 発達科学部 教授） 松原 勝敏（高松大学 発達科学部 教授） 山田 純子（高松大学 発達科学部 准教授） 蓮本 和博（高松大学 発達科学部 講師） 川原 亜津美（高松大学 発達科学部 助教） 高橋 伸子（高松大学 非常勤講師）

<選択必修領域講習>

講習名	学校における危機管理上の課題
講習の概要	学校（園）の危機的な事態の具体的な事例の分析等を通して、学校危機への事前予防、事後対応の両面について組織的にかつ関係機関等との連携のもとでいかに対応すべきか。その実践的な課題解決策の習得を図ることをねらいとする。期待される学習効果は、学校危機に関する全般的な知識と現実的課題への理解を深めることにより、多様な危機管理に対応できる実践的指導力が身につくことである。（例：学校事故、災害、保護者対応など）
試験方法	筆記試験
担当講師	阪根 健二（鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 教授）

講習名	教育の情報化（ICT を利用した指導、情報モラルを含む）
講習の概要	教育の情報化（ICT を利用した教科指導及びセキュリティーを含む学校事務における教育情報の活用）と情報教育（情報モラルを含む）の基本的考え方や学校教育におけるICTの最新動向、学校現場における情報教育の授業改善や教育改善を行うための具体的方策と留意点について演習を通して理解するとともに、実践活動で生かせる知識や技能を学ぶ。
試験方法	筆記試験
担当講師	佃 昌道（高松大学長、高松大学 経営学部 教授）

<選択領域講習>

講習名	表現に役立つ描画材料の基礎
講習の概要	普段、園や学校で何気なく使っている描画材料（絵具など）の基礎を学び、「表現」及び「図画工作」の発展的な創造活動にむすびつける。絵具の組成や顔料、展色剤、描画材料の歴史などの講義を行う。また受講者が絵具をつくる体験をしたり、つくった絵具で絵を描いたりする。
試験方法	筆記試験
担当講師	岡谷 崇史（高松短期大学 保育学科 講師）

講習名	子どもの保健 ークラス担任に知って欲しいことー
講習の概要	成長発達の途上において各臓器にはさまざまな臨界期が存在しており、一度それが障害されると一生を決定づける非可逆的な変化が引き起される。子どもの身体や心の健康について、新生児期、乳幼児期からの重要性を理解して頂きたい。小児科医の立場から、(1)小さく生まれた子供たち、(2)親と子の関係性（特に母子相互作用の重要性）と母乳育児、(3)感染・免疫・予防接種、(4)子どもの生活習慣病について述べる。
試験方法	筆記試験
担当講師	磯部 健一（高松大学 発達科学部 教授）

講習名	心を読みとるコミュニケーション
講習の概要	人間関係の希薄化・価値観の多様化の時代における「心豊かなコミュニケーション」は、児童・生徒間だけでなく教師間にも求められています。「考える力」「感じる力」「表現する力」「行動する力」、さらに「悩み相談解決コミュニケーション能力」を身につけるために理論と演習を通じて、「心を読みとるコミュニケーション」の理解を行います。①グループコミュニケーション理論・演習 ②カウンセリング的（心を読み取る）コミュニケーション理論・演習
試験方法	筆記試験
担当講師	蓮井 孝夫（高松大学 非常勤講師）

講習名	教師としてのマナーを考える
講習の概要	マナーは相手に対する敬意や思いやりの心の表れであり、より良い社会生活を営む上での基本です。教師はこれからの時代を担う幼児、児童、生徒のモデルです。そして、保護者や地域住民からも常に注目されており、生徒指導上で教師のマナーは極めて重要です。本講習では教師に求められるマナーの重要性や幼児、児童、生徒の正しいマナー指導への活かし方について考察します。さらに、言葉遣いや挨拶、立ち居振る舞い、電話応対等の基本的な作法を、ロールプレイングによる実践を通してより確かなものにします。
試験方法	筆記試験
担当講師	山野 邦子（高松短期大学 非常勤講師）

講習名	「新しい読解力」と国語科の授業
講習の概要	<p>小学校の国語科で扱われている代表的な物語作品を取り上げ、従来の指導方法と新しい読解力による指導方法を比較検討する。</p> <p>(1) これまでの物語作品の読解</p> <p>① 登場人物の「気持ちを読む」ことと「表現に即して読む」こと</p> <p>② 「子どもの読みを大切にすること」と「表現に即して読む」こと</p> <p>(2) 「新しい読解力」と物語り作品の指導</p> <p>① P I S A学力調査の衝撃</p> <p>② P I S A型読解力と物語り作品の指導</p>
試験方法	筆記試験
担当講師	秋山 達也 (高松大学 発達科学部 准教授)

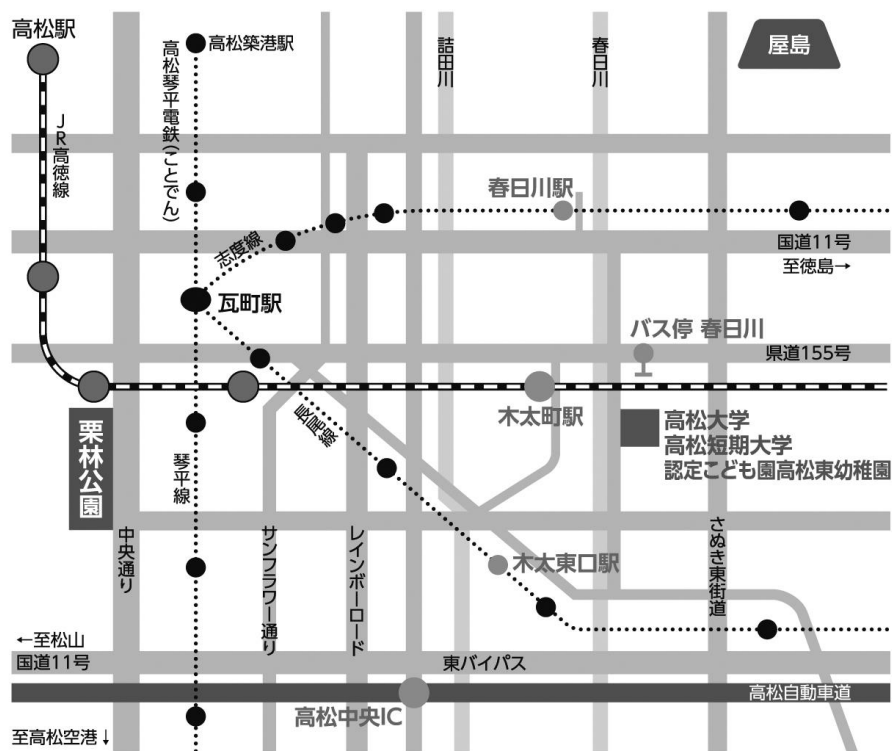
講習名	発声を中心とした共通教材等の歌唱指導
講習の概要	<p>四季折々の美しい情景や、細やかな心情を心豊かに表現した日本歌曲や、共通教材の歌唱を基礎的な発声法から高度なものまで、出来るだけ習得する事により完成度の高い指導を目指す。受講者が夫々唯一の楽器であることを認識し、日々の授業において自信と確信をもって、歌唱指導を行える様にする。</p>
試験方法	実技考査
担当講師	藤原 フサエ (高松大学 発達科学部 教授)

講習名	子どもに対する英語指導と異文化理解教育
講習の概要	<p>外国語活動をめぐる最近の状況、異文化理解にかかわる様々な問題、子どもに英語を教えるための指導技術や教室英語など。</p>
試験方法	筆記試験
担当講師	<p>藤井 昭洋 (高松大学 非常勤講師)</p> <p>Paul Batten (香川大学 教育学部 准教授)</p>

15. 講習会場案内図

高松大学・高松短期大学への交通機関

JR	高徳線「木太町」駅から1.2km	私鉄	ことでん志度線「春日川」駅から1.6km、 または長尾線「木太東口」駅から2km
バス	ことでんバス庵治線、浦生線、大学病院線 (高松駅⑦番のりばから約20分乗車・瓦町駅前①番のりばから約15分乗車) バス停「春日川」から500m		
高速道路	高松自動車道「高松中央IC」から3.5km		



◆ お問い合わせ先 ◆

高松大学・高松短期大学 学生支援部 教務課
〒761-0194 香川県高松市春日町 960 番地
TEL (087)841-3237 FAX (087)841-7158
月曜～金曜 (祝日除く) 9時から 17時まで